

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 高温ストレスによる発芽阻害メカニズムの解明

2. 個人研究者名

竹内 純（静岡大学農学部 准教授）

3. 事後評価結果

本 ACT-X プロジェクトでは、高温ストレスによる発芽阻害が KAI2 シグナル伝達の抑制によって引き起こされるという仮説に基づき、KAI2 リガンドの探索を目指した野心的な研究を展開した。自身の専門である有機合成化学の技術を活用して、多様なリガンド候補を合成し、それらの結合力および構造特異性を解析した。結果として、仮説とは異なるものの、KAI2 および D14 に特異的な阻害剤を開発する研究へと繋がった。これは当初計画の変更が成功したことを示している。状況に応じた柔軟な研究戦略の立案は注目に値し、今後の研究活動への貢献が期待される。

ACT-X プロジェクトを通じて、高温ストレスによる発芽阻害という重要なテーマを探究する中で、独自の研究バックグラウンドを活かし、植物生理学の幅広い現象を解明するスキルを向上させることができた。将来、ケミカルバイオロジー研究の広範な応用に対する貴重な基盤となることが期待される。